

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	1	1	1	防災・消防	防災体制の充実
実施計画事業名					
公立保育所耐震診断事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	04	02	公立保育所維持管理費	
担当課・係等					
子育て支援課保育係					

実施計画整理番号	
401010101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	大規模自然災害が発生したときでも園児の生命の保護が最大限図られるようにする。	旧耐震基準で建設された公立保育所の耐震診断を実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	保育所の耐震性を確認し、安全を確保するうえで必要な工事等を把握することで施策「防災体制の充実」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		単位	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	6,160	5,980	5,500	12,782				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	6,160	5,980	5,500	12,782				
	人工数		人	0.2							
	人件費		千円	1,513							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度																		
旧耐震基準で建設された公立保育所に対して耐震診断を実施する。	診断実施保育所	箇所	目標値	1	1	1																		
			実績値	1																				
			目標値																					
			実績値																					
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度																		
安全が確保されることにより、園児の生命の保護が最大限図られる。			目標値																					
			実績値																					
活動指標の動向			成果指標の動向																					
診断実施保育所 <table><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>R1</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R3</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>R4</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>R5</td><td>1</td><td></td></tr></table>			年度	目標値	実績値	R1			R2			R3	1	1	R4	1		R5	1					
年度	目標値	実績値																						
R1																								
R2																								
R3	1	1																						
R4	1																							
R5	1																							

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
4	1	1	1	公立保育所耐震診断事業	3	02	04	02	公立保育所維持管理費	401010101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	東郷保育所の耐震診断を実施し、所定の耐震性を有していることを確認した。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	建物本体以外の非構造部材について、老朽化等により改修の必要性がある場合は、早急に方針を定めて対応していく必要がある。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	建築課と適時協議し、東郷保育所の非構造部材の改修を検討するとともに、順次該当する保育所の耐震診断を進めていく。	
	企画政策課の評価	評価理由
	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	耐震診断を実施することで防災体制の充実に資する事業と認められる。引き続き実施し、利用者の安全・安心が図られるよう努めていただきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	1	1	1	防災・消防	防災体制の充実
実施計画事業名					
防災行政無線施設事業					

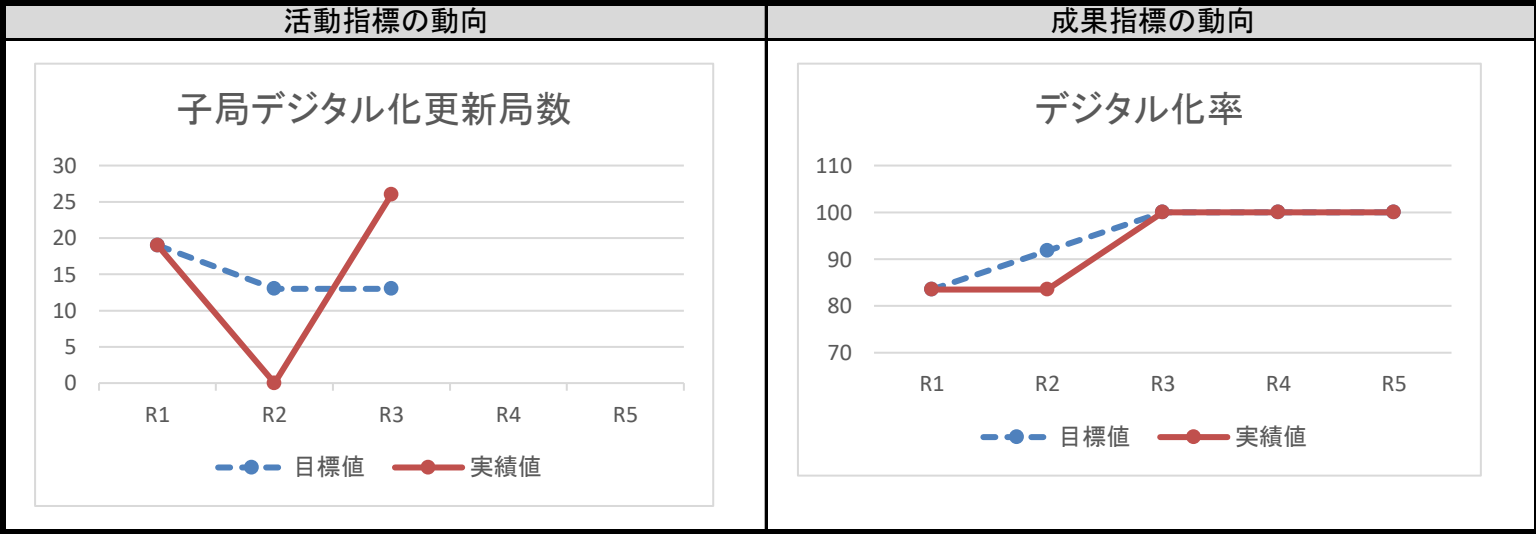
予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	01	防災行政無線施設事業
担当課・係等				
防災対策課 防災対策係				

実施計画整理番号	
401010102	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	災害発生時における市民への迅速かつ的確な情報伝達手段として整備している防災行政無線屋外子局のデジタル化及び電波環境改善工事を行い、災害情報を迅速かつ的確に入手できる環境とするとともに、機能向上と難聴地区の解消を図る。	老朽化している防災行政無線屋外子局のデジタル化への更新、電波環境改善工事を実施し、難聴地域解消対策を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	災害情報伝達手段を強化することで、施策「防災体制の充実」に寄与している。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	80,322	116,326	109,484	80,489					
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円	1,590	1,590	3,845					
		市債	千円	76,142	112,100	109,400	71,700				
		その他	千円	1,000	1,000	50	1,000				
		一般財源	千円	1,590	1,636	34	3,944				
	人工数	人		0.5							
	人件費	千円		3,782							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
老朽化している防災行政無線屋外子局のデジタル化への更新、電波環境改善工事の実施	デジタル化した子局数	基	目標値 13	13	-	-
			実績値 0	26		
	電波改善工事	箇所	目標値 0	0	1	0
			実績値 0	0		
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
難聴地域の解消	デジタル化率の向上	%	目標値 91.8	100	100	100
			実績値 83.5	100		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
4	1	1	1	防災行政無線施設事業	2	01	13	01	防災行政無線施設事業	401010102

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果 (具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
・防災行政無線屋外子局のデジタル化を26局実施し、市内158局全てのデジタル化が完了した。		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	C: 効率性について検討が必要である
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた (目標・目的を達成している)		
分析・評価 (活動してどのような課題があったか)		
・デジタル化工事は完了したが、台風等の災害時に気密性の高い住宅まで防災行政無線が聞こえない可能性もある。		

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性		改善・改革の手法	
B:事業の実施方法やコスト等について改善が必要		⑤更なる事業の推進	
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
・今後は、電波の出力の増強や、再送信子局を新設し、難聴地域の解消に努めていく。 ・戸別受信機の貸与や安全安心メール等の情報伝達手段の周知を図っていく。			
企画政策課の評価		評価理由	
B A:計画どおり事業継続が 適当 B:事業改善の検討が必要 C:事業の休止・廃止の検 討が必要 D:事業終了が適当		市民の災害発生時等において、災害情報を迅速かつ的確に入手できる 環境を整備し防災体制の充実が図られる事業と認められる。引き続き、 機能向上を図るとともに、更なる難聴地域の解消に向けた情報伝達手 段の周知徹底に努めていただきたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	1	1	2	防災・消防	防災体制の充実
実施計画事業名					
自主防災組織支援事業					

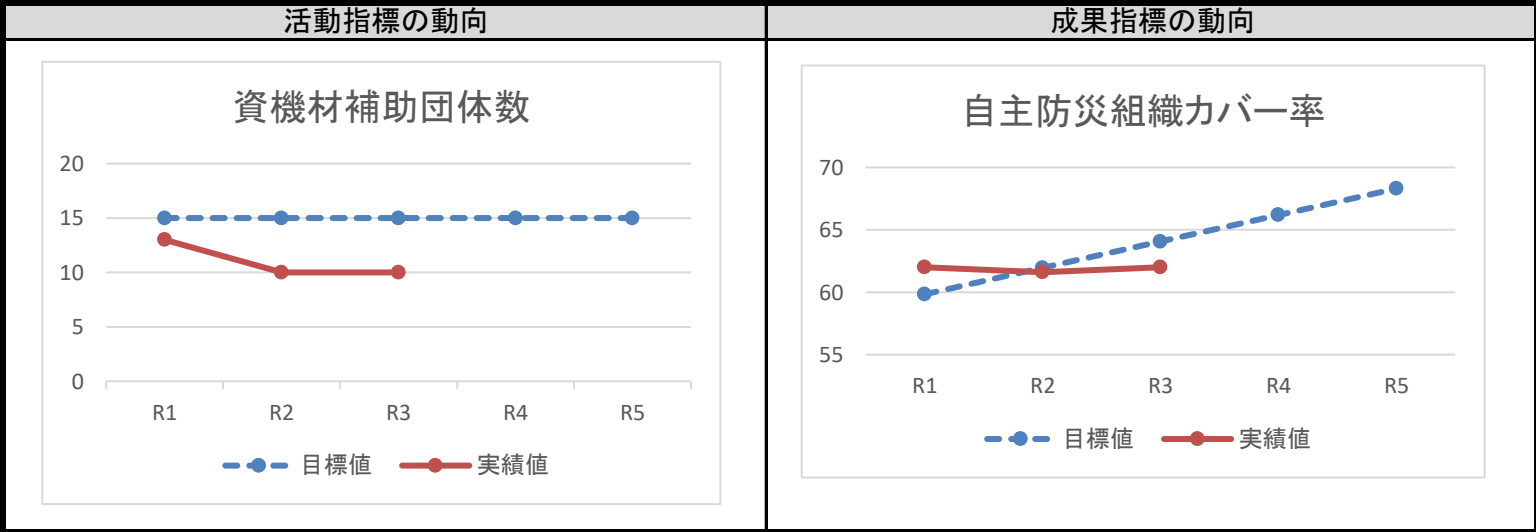
予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	02	自主防災組織支援事業
担当課・係等				
防災対策課 防災対策係				

実施計画整理番号	
401010201	
総合戦略 整理番号	41101

事務事業の概要（PLAN）	事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
	自主防災組織に支援を行い、地域防災力の向上を図る。	新設自主防災会設立前には説明会を実施し、設立時には資機材を貸与する。既存自主防災会には、追加資機材の補助を行う。
	基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）	
	自然災害から市民の生命・財産を守り、被害を最小限にするため、災害発生時に自ら考え行動できるように防災教育を推進するとともに、地域における自主防災組織の結成、活動を支援し、「自助」、「共助」の取り組みを強化することで、施策「防災体制の充実」に寄与している。	

投入される行政コスト（DO）	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	3,141	3,141	1,148	3,141				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円	1,320	1,320	538	1,320				
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	1,821	1,821	610	1,821				
	人工数		人	0.5							
	人件費		千円	3,782							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
自主防災組織へ資機材の補助 出前講座の実施	資機材の補助団体数	団体	目標値 15	15	15	15
			実績値 10	10		
	出前講座の実施	回	目標値 15	15	15	15
			実績値 7	8		
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
自主防災組織の活動活性化	自主防災組織カバー率	%	目標値 61.95	64.07	66.19	68.3
			実績値 61.6	62.0		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
4	1	1	2	自主防災組織支援事業	2	01	13	02	自主防災組織支援事業	401010201

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）		
・新規自主防災組織2団体への資機材の貸与、及び既存自主防災組織10団体への資機材の補助については、地域防災力の向上が図られた。 ・新規自主防災組織に資機材、戸別受信機を貸与した（2団体）。 ・既存自主防災組織の資機材に対して補助事業を行った（10団体）。		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）		
分析・評価（活動してどのような課題があったか）		
・自主防災組織の活動については、各自主防災組織の意欲等によるものが大きく、組織の活性化を促す方策が必要である。		

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか）	
・各自主防災組織の活動状況を把握し、活動していない自主防災組織に対し、市がきっかけ作り等に関与し、活動の活性化を図っていく。	
企画政策課の評価	評価理由
B A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の 検討が必要 D: 事業終了が適当	自主防災組織に資機材等を補助することで、自主防災組織の活動活性化が図られる事業と認められる。今後は更なる活性化を図るとともに、自主防災組織の活動意欲向上に努めることで、非常時の地域防災力向上につなげていただきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	1	1	2	防災・消防	防災体制の充実
実施計画事業名					
地域支え合い体制づくり事業					

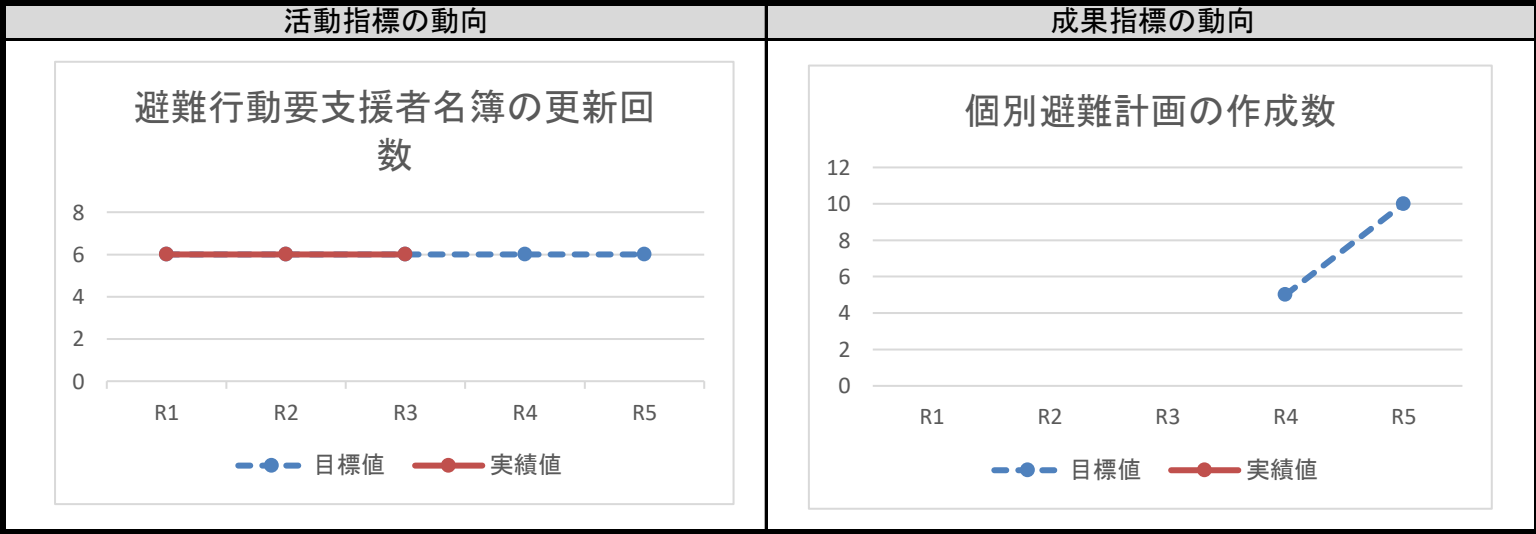
予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	01	07	地域支え合い体制づくり事業
担当課・係等				
社会福祉課 地域福祉係				

実施計画整理番号	
401010202	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	茂原市避難行動要支援者避難支援プラン【全体計画】に基づき避難行動要支援者を把握し、市民の共助の取り組みを推進して、避難支援体制の構築を図る。	避難行動要支援者名簿を作成し、定期的に更新する。避難行動要支援者名簿を避難支援の実施に必要な限度で避難支援等関係者に適切に提供する。真に避難支援が必要な者の個別避難計画を作成する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	防災体制においては、市民が自らの命を守る「自助」、協力して助け合う「共助」の重要性が高まっており、災害時における要配慮者対策を推進して「共助」の取り組みを強化することは、施策「防災対策の充実」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		単位	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	5,874	5,469	4,376	198				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円	5,873	5,469	4,376					
		一般財源	千円	1	0	0	198	0	0		
	人工数		人	0.58							
	人件費		千円	4,387							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
災害時における要配慮者対策を推進して「共助」の取り組みを強化するため、避難行動要支援者名簿を作成し、定期的に更新する。	避難行動要支援者名簿の更新回数	回	目標値 6	6	6	6
			実績値 6	6		
			目標値			
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
市民の共助の取り組みを推進して、実効性のある避難支援体制の構築を図る。	個別避難計画の作成数	人	目標値 —	—	5	10
			実績値 —	—		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
4	1	1	2	地域支え合い体制づくり事業	3	01	01	07	地域支え合い体制づくり事業	401010202

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果 (具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
・要配慮者を把握して避難行動要支援者名簿を定期的に更新することで、災害に備えることができた。また、名簿情報を避難支援等関係者に適切に提供することで地域の共助力を推進した。 ・旧式であった避難行動要支援者管理システムを更新し、避難支援に関する取り組みの基盤を整備することができた。		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた (目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価 (活動してどのような課題があったか)		
・避難行動要支援者名簿を作成し、名簿情報を避難支援等関係者に適切に提供しているが、地域における避難支援等関係者の選出が課題となっている。 ・避難行動要支援者名簿は、避難能力に着目しない要件を用いて対象者を抽出していることから、避難能力や支援の要否について災害対策基本法で規定する避難行動要支援者の要件に該当しないものも名簿に記載されていることから、今後は真に避難が必要な者を対象として個別避難計画の作成に取り組んでいく必要がある。		

今後の方向性
(ACTION)

事業の方向性		改善・改革の手法	
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		⑤更なる事業の推進	
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
・実効性のある個別避難計画を作成するため、地域防災の担い手、本人の心身の状況や生活実態を把握している福祉専門職や職種団体等、様々な関係者と連携して取り組んでいく。また、個別避難計画の作成は優先度の高い者から作成を進める。 ・本取組は災害対策基本法の一部改正(令和3年5月)により、国の指針で定めるところの「改正法施行後からおおむね5年程度」の期間に実施できるよう事業を進める。			
企画政策課の評価		評価理由	
B A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当		避難支援者の個別避難計画を作成することで、防災体制の充実が図られる事業と認められる。作成の優先順位等について各関係団体と連携を図りながら、より実効性の高い計画の作成に取り組んでいただきたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	1	1	2	防災・消防	防災体制の充実
実施計画事業名					
がけ地崩壊対策事業補助金					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	01	08	がけ地崩壊対策事業
担当課・係等				
土木管理課・用地管理係				

実施計画整理番号	
401010203	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	地震や大雨等により、がけ地崩壊による災害から危険区域内的の住民の生命及び財産を保護するため、コンクリート造、その他これに類する材料を用いた構造で崩壊しないようにする。	がけ地崩壊の予防や復旧対策を行う者に対し、費用の一部を補助する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	がけ地崩壊による災害から市民の生命、身体及び財産を守り、ひいては施策「防災体制の充実」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		単位	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	1,000	1,000	0	1,000				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	1,000	1,000	0	1,000				
	人工数		人	0.15							
	人件費		千円	1,134							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
がけ地崩壊の予防や復旧対策を行う者に対し、費用の一部を補助する。		目標値				
		実績値				
		目標値				
		実績値				
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
地震や大雨等により、がけ地崩壊による災害から危険区域内の住民の生命及び財産を保護する。		目標値				
		実績値				
活動指標の動向			成果指標の動向			

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	401010203
4	1	1	2	がけ地崩壊対策事業補助金	7	02	01	08	がけ地崩壊対策事業	

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・がけ地崩壊対策事業補助金について、広報もばらへの掲載や住民回覧にて周知を図った。

・住民から問い合わせや相談が数件あったが、実際に工事までには至らなかった。

必要性の評価

有効性の評価

効率性の評価

A: 必要性が高い

B: 有効性が認められる

B: 効率性が認められる

総合評価

C: 成果を挙げる事ができなかった（目標・目的を達成していない）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・実際に業者から見積りを取ると工事費が高額なため、断念するケースが見受けられた。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性

改善・改革の手法

B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要

⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか）

・工事費が高額であるため、今後、補助金額を含めた要綱の見直しが必要である。

企画政策課の評価

評価理由

B

A: 計画どおり事業継続が
適当

B: 事業改善の検討が必要

C: 事業の休止・廃止の検
討が必要

D: 事業終了が適当

補助金の利用がないことから、制度の見直しが必要である。市民が利用しやすい制度を検討いただくとともに、より効果的な周知にも努めていた
だきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	1	1	3	防災・消防	防災体制の充実
実施計画事業名					
災害非常用対策事業					

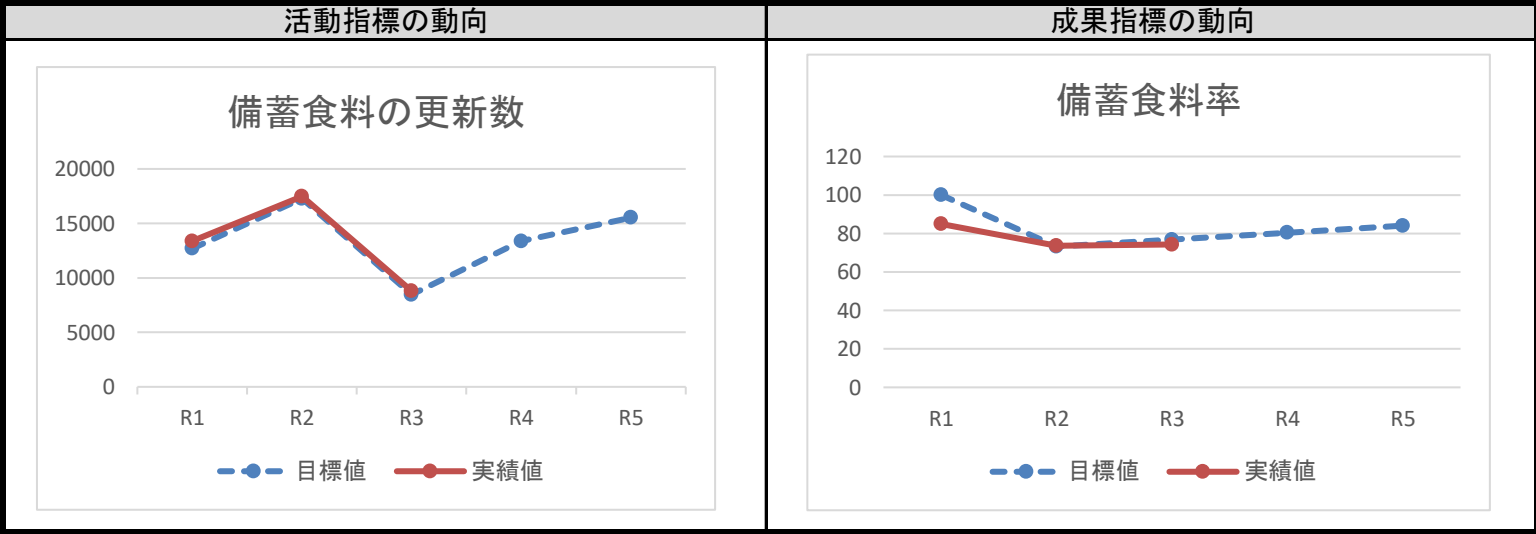
予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	03	災害非常用対策事業
担当課・係等				
防災対策課 防災対策係				

実施計画整理番号	
401010301	
総合戦略 整理番号	41103

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	災害時に速やかに防災体制を確立し、市民が迅速な災害情報の受信及び災害備蓄品の提供を受けられるようにする。また、広域医療救護所の設置により、迅速かつ効率的な医療救護を受けられるようにする。	地域防災訓練の実施、防災気象情報システムの運用、災害備蓄品の整備、各種計画の改定、広域医療救護所の整備費補助等の災害対策事業を行い、被害の軽減や医療救護体制を整備を図る。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	災害応急体制の充実として、高齢者等の要配慮者に対応した避難所の整備を実施している。また、広域医療救護所の設置により、迅速かつ効率的な医療救護体制の整備を実施しており、施策「防災体制の充実」に寄与している。	

投入される行政コスト(DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		単位	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	20,998	133,222	126,206	12,105				
	財源内訳	国補助	千円		112,224	105,512					
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	20,998	20,998	20,694	12,105				
	人工数		人	0.9							
	人件費		千円	6,807							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
備蓄食料の計画的な更新等により、災害備蓄品を整備する	備蓄食料の更新数	食	目標値	17280	8470	13378	15536
			実績値	17480	8400		
			目標値				
			実績値				
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
備蓄食料の拡充を図ることで、災害時に市民が災害備蓄品の提供を受けられる環境を整備する	食料備蓄率	%	目標値	73.21	76.83	80.43	84.04
			実績値	73.61	74.23		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
4	1	1	3	災害非常用対策事業	2	01	13	03	災害非常用対策事業	401010301

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

- ・備蓄食料の更新
- ・地域防災訓練の実施（高師地区）
- ・もばら安全安心メール等、情報伝達手段の加入促進及び啓発
- ・新型コロナ感染症対策備品の拡充
- ・広域医療救護所の整備（宍倉病院）

必要性の評価

有効性の評価

効率性の評価

A: 必要性が高い

A: 有効性が高い

B: 効率性が認められる

総合評価

A: 十分な成果を挙げた（目標・目的を達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

- ・備蓄計画に基づく備蓄品の更新及びコロナ禍に対応した避難所の整備を実施することができたが、避難所の備蓄品等の点検に膨大な時間と労力がかかる。
- ・広域医療救護所の訓練の必要性がある。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性

改善・改革の手法

B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要

⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか）

- ・地域の防災関連組織と連携し、避難所備蓄倉庫の点検等を検討する。
- ・各医療機関の実施する広域医療救護所の訓練への参加を検討する。

企画政策課の評価

評価理由

B

A: 計画どおり事業継続が
適当

B: 事業改善の検討が必要

C: 事業の休止・廃止の検
討が必要

D: 事業終了が適当

概ね成果指標の目標を達成していることから防災体制の充実が図られておりと認めることはできる。今後は、効率的な避難所備蓄倉庫の点検等の実施など関連機関との連携を強化し事業運営に努めていただきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	2	1	1	道路	生活道路の整備
実施計画事業名					
道路改良事業					

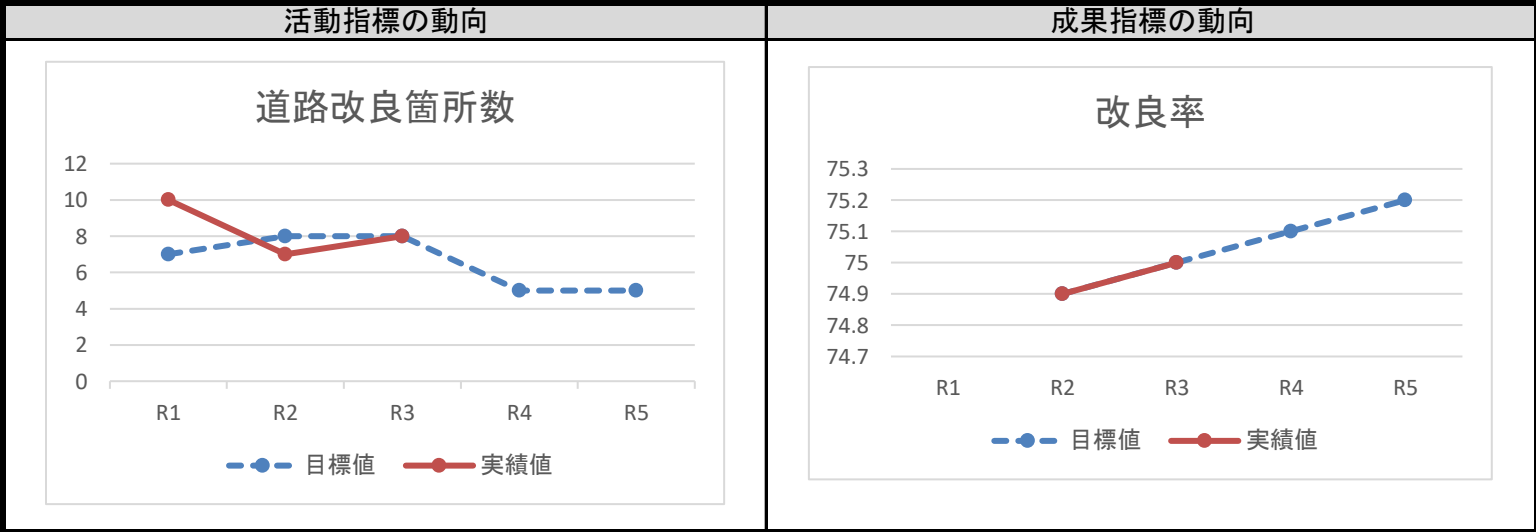
予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	03	01	道路改良事業
担当課・係等				
土木建設課 道路整備係				

実施計画整理番号	
402010101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	道路整備を行うことで、道路利用者が安全・安心に通行できるようにする。	道路事業用地の取得及び支障物件の移転補償、道路改良工事の設計、工事の施行管理を実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	道路は、交通機能・空間機能を有し、人々の生活や経済活動に不可欠な社会基盤として、大きな役割を果たしている。人にやさしい道路の整備により、市民生活の安全を確保する事につながり、ひいては施策「生活道路の整備」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		単位	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	104,248	131,303	110,327	265,000				
	財源内訳	国補助	千円				59,900				
		県補助	千円				109,000				
		市債	千円	90,800	108,400	88,900	84,900				
		その他	千円								
		一般財源	千円	13,448	22,903	21,427	11,200				
	人工数		人	2.2							
	人件費		千円	16,639							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
道路改良事業を進めることで、市民生活の安全確保に努める。	道路改良箇所数	箇所	目標値 8	8	5	5
			実績値 7	8		
			目標値			
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
道路改良事業を進め、道路利用者が安全・安心に通行できるようにする。	改良率	%	目標値 74.9	75.0	75.1	75.2
			実績値 74.9	75.0		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
4	2	1	1	道路改良事業	7	01	03	01	道路改良事業	402010101

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

- 生活道路の整備として、8箇所の道路改良を実施した。
- 市道3級8014号線他2箇所において道路改良工事を実施した。
- 市道2級5号線他4箇所において路線測量、道路詳細設計等を実施した。
- 道路改良事業を進めることで、道路利用者が安全・安心に通行できるようになり、安全性・利便性が向上した。

必要性の評価

有効性の評価

効率性の評価

A: 必要性が高い

A: 有効性が高い

B: 効率性が認められる

総合評価

B: ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

- 住民要望は増加しており要望に対する進捗率が図れない状況であり、事業費増による対策が必要である。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性

改善・改革の手法

B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要

⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか）

- 交付金を活用するなど、財源の確保に努めるとともに、最小の経費で最大の効果をもたらすよう、工法等も検討する。

企画政策課の評価

評価理由

A

A: 計画どおり事業継続が
適当
B: 事業改善の検討が必要
C: 事業の休止・廃止の検
討が必要
D: 事業終了が適当

道路利用者の安全・安心に資する事業と認められる。引き続き、財源の確保、歳出の抑制に努めながら、事業の優先順位を考慮し適切に実施を進めていただきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	2	1	2	道路	生活道路の整備
実施計画事業名					
道路橋梁維持補修費					

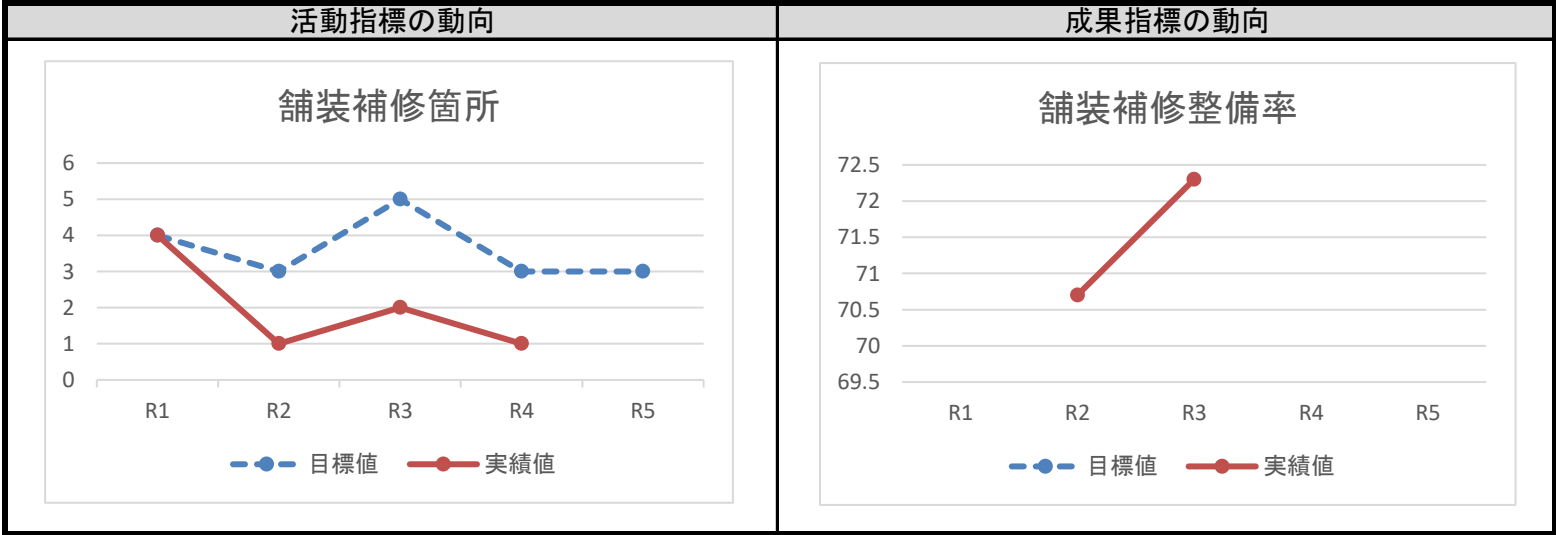
予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	02	02	道路橋梁維持補修費
担当課・係等				
土木管理課 維持補修係				

実施計画整理番号	
402010202	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要（PLAN）	事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
	道路補修を実施することで、交通の円滑化と事故防止、その上、生活環境の保全が図られる。	道路舗装の点検を行い、それを基に修繕計画を作成し計画的に修繕を実施する。
	基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）	
	道路に関連する社会インフラ施設の管理及び維持補修を行う事により、交通の円滑化や事故防止、更には、生活環境の保全が図られることで、ひいては、施策「生活道路の整備」に寄与している。	

投入される行政コスト（DO）	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	101,525	161,561	113,399	125,525					
	財源内訳	国補助	千円	25,570	25,570	15,037	43,619				
		県補助	千円								
		市債	千円	52,100	77,014	53,802	32,100				
		その他	千円								
		一般財源	千円	23,855	58,977	44,560	49,806				
	人工数	人	2.6								
	人件費	千円	19,664								

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
道路の点検を行い、各施設の修繕計画を作成すると共に、計画に基づき修繕や維持管理を行う。	舗装修繕計画に基づく舗装補修箇所	路線	目標値	3	5	3	3
			実績値	1	2	1	
			目標値				
			実績値				
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
修繕計画に基づき、道路施設の維持補修や修繕を実施する事で、交通の円滑化、事故防止が図られる。	道路舗装補修整備率	%	目標値	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
			実績値	70.7	72.3		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
4	2	1	2	道路橋梁維持補修費	7	01	02	02	道路橋梁維持補修費	402010202

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・道路舗装補修工事（1・2級及び幹線道路）

・道路舗装補修工事（その他市道）

・道路維持補修工事

・トンネル補修工事

・トンネル補修設計業務

・各種道路補修材購入

2路線（執行4箇所うち2箇所繰越）

7路線

19箇所

1箇所

1件

1式

必要性の評価

有効性の評価

効率性の評価

A: 必要性が高い

A: 有効性が高い

A: 効率性が高い

総合評価

B: ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

当初の予算どおりに実施されている事業については一定の成果が得られていると認められるが、補修（修繕）費において比較的大きな予算を伴う為、各種インフラ施設の老朽化と修繕のバランスが取れていない。

この為、舗装等の補修箇所が多数残っている。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性

改善・改革の手法

B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要

④調達方法の見直し

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか）

補修や修繕においては、耐久性の高い材料やコスト縮減が可能な工法の採用などを組合わせ、緊急性や必要性を考慮しながら、効率の高い補修及び修繕を行っていく。

企画政策課の評価

評価理由

A

A: 計画どおり事業継続が
適当

B: 事業改善の検討が必要

C: 事業の休止・廃止の
検討が必要

D: 事業終了が適当

道路補修の実施は、市民の生活環境の保全及び交通の円滑化と事故防止に資すると認められる。引き続き、より効率的な手法を用いるとともに、優先順位を考慮し適切な事業実施に努めていただきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	2	1	2	道路	生活道路の整備
実施計画事業名					
橋梁長寿命化修繕事業					

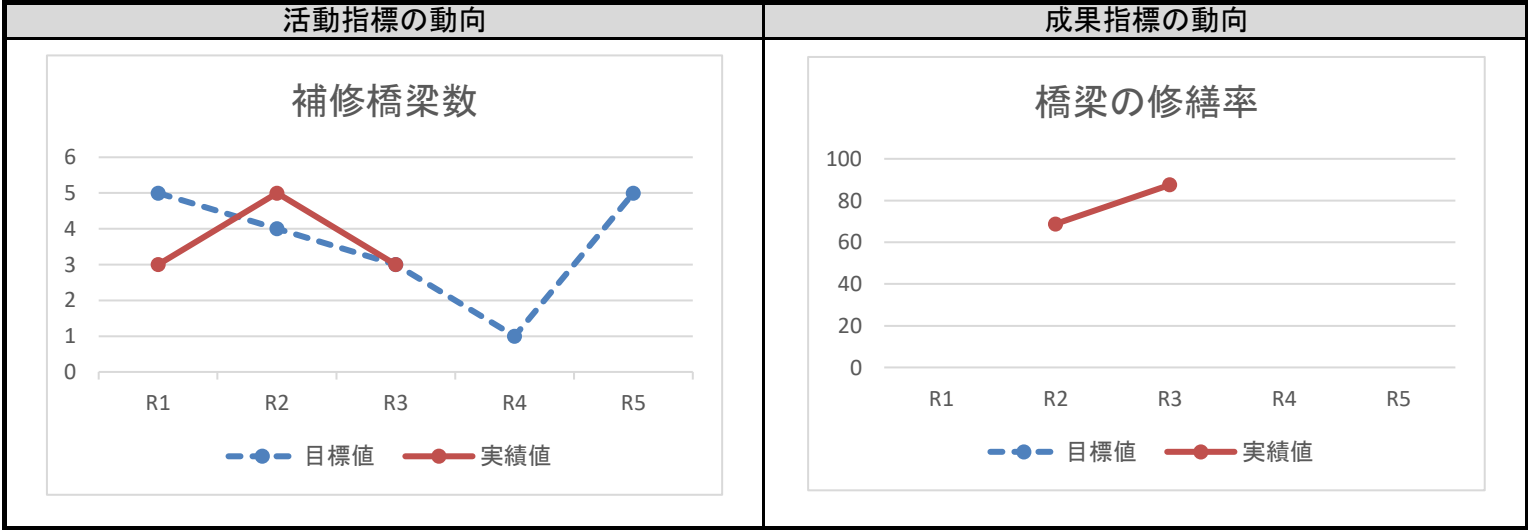
予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	02	02	道路橋梁維持補修費
担当課・係等				
土木管理課 維持補修係				

実施計画整理番号	
402010203	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	市管理の橋梁について、計画的な予防保全的維持管理に転換を図り、長寿命化によるコスト縮減と併せて地域の道路網の安全性と信頼性を向上させる。	「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、順次橋梁の修繕を実施し、定期的に橋梁点検を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか) 橋梁長寿命化修繕計画を基に、橋梁物の長寿命化を図り、維持管理費のコスト削減を考慮しながら修繕を実施している。 社会資本インフラ施設の整備・保全を行う事で、安全性や利便性の向上が見込まれ、ひいては施策「生活道路の整備」に寄与している。	

投入される行政コスト(DO)	区分		単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
				計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	56,740	107,514	101,666	86,900					
	財源内訳	国補助	千円	31,207	59,180	53,625	47,795					
		県補助	千円									
		市債	千円	15,800	43,386	39,298	35,100					
		その他	千円									
	一般財源		千円	9,733	4,948	8,743	4,005					
	人工数		人	1.4								
	人件費		千円	10,588								

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
橋梁長寿命化修繕計画を基に、緊急性などを考慮しながら、定期的な点検や補修を行う。	補修橋梁数	橋	目標値 4	3	1	5
			実績値 5	3		
			目標値			
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
地域の道路網の安全性と信頼性を向上させる。	橋梁の修繕率 早期に措置を講ずべき状態(Ⅲ判定以上)	%	目標値 増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
			実績値 68.8	87.5		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
4	2	1	2	橋梁長寿命化修繕事業	7	01	02	02	道路橋梁維持補修費	402010203

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁点検及び橋梁修繕に伴う設計委託、橋梁の修繕工事を実施した。		
	橋梁点検数 26橋 橋梁補修設計委託 2橋 橋梁補修工事 4橋(現年3橋 R2繰越1橋)		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
総合評価			
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
橋梁の点検については、5年に1度の割合で実施する事と義務付けられている為、毎年点検の費用が必要であり、点検の結果、修繕が必要と認められた場合、補修に対する設計業務も委託発注しなければならず、修繕費以外にも比較的大きな費用が必要なことから、補助金等を活用しても年間2～3橋程度の実施となっており、事業の進捗を図ることが難しい。			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	橋梁の点検結果において、損傷箇所をより細かく確認し、予防的な補修により破損の進行を遅延させながら、補修対象の橋梁を減少を図り、既存施設の長寿命化に取り組んでいく。	
	企画政策課の評価	評価理由
A	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	本事業は、地域の道路網の安全性や信頼性の向上に資するものと認められる。引き続き、修繕計画に基づき、計画的に事業を進めるとともに、より効率的な手法による実施に努めていただきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	3	1	2	河川等	河川の整備
実施計画事業名					
河川改修事業(乗川)					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	02	03	01	河川改修事業	
担当課・係等					
土木建設課 河川整備係					

実施計画整理番号	
403010201	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上を図る。	河川改修に必要な用地取得及び橋梁架替を進めるとともに、放流先である二級河川赤目川改修事業の整備促進を国及び県へ要望する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	河川は、治水・利水機能のほか、防災・環境保全など様々な機能を果たしている。河川改修を進め、流域の浸水被害を軽減することにより、安全で豊かな地域社会を保全することにつながり、ひいては、施策「河川の整備」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円								
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円								
	人工数		人	0.15							
	人件費		千円	1,134,450							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度																		
河川改修に必要な用地取得及び橋梁架替を進めるとともに、放流先である二級河川赤目川改修事業の整備促進を国及び県へ要望する。	用地取得及び橋梁架替	目標値																						
		実績値																						
	赤目川改修促進要望活動	目標値																						
		実績値																						
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度																		
流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上を図る。	乗川改修計画進捗率	%	目標値 41	42	45	47																		
		実績値 42	42																					
活動指標の動向			成果指標の動向																					
			乗川改修計画進捗率 <table><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>R1</td><td>41</td><td>41</td></tr><tr><td>R2</td><td>40.5</td><td>42</td></tr><tr><td>R3</td><td>41</td><td>41.5</td></tr><tr><td>R4</td><td>45</td><td>45</td></tr><tr><td>R5</td><td>47</td><td>47</td></tr></table>				年度	目標値	実績値	R1	41	41	R2	40.5	42	R3	41	41.5	R4	45	45	R5	47	47
年度	目標値	実績値																						
R1	41	41																						
R2	40.5	42																						
R3	41	41.5																						
R4	45	45																						
R5	47	47																						

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
4	3	1	2	河川改修事業(乗川)	7	02	03	01	河川改修事業	403010201

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

・用地取得及び橋梁架替を実施することができなかった。

・赤目川改修事業の整備促進のため、国及び千葉県への要望活動を実施した。
(国:令和3年9月28日、千葉県:令和3年11月5日、長生土木事務所:令和3年9月24日)

・赤目川改修促進期成同盟会総会を開催(書面)し、事業の進捗状況及び今年度の事業予定を地元へ周知した。

必要性の評価

有効性の評価

効率性の評価

A:必要性が高い

B:有効性が認められる

B:効率性が認められる

総合評価

C:成果を挙げることはできなかった(目標・目的を達成していない)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

・赤目川改修事業の進捗状況について、1月に地元説明会を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い延期となり、地元への十分な周知が図れなかった。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性

改善・改革の手法

B:事業の実施方法やコスト等について改善が必要

⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

・用地取得等について、地権者及び地域の理解を求めていく。

・赤目川改修促進に係る国・県への要望活動を引き続き実施していくとともに、コロナ禍における要望活動の実施方法について検討する。

・赤目川整備の進捗状況について、地元説明会を開催し周知を図る。

企画政策課の評価

評価理由

B

A:計画どおり事業継続が
適当

B:事業改善の検討が必要

C:事業の休止・廃止の
検討が必要

D:事業終了が適当

地域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上に資する事業と認められる。引き続き、整備促進に係る要望活動を実施するとともに、地域住民の理解を得ながらの事業実施に努めていただきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	3	1	2	河川等	河川の整備
実施計画事業名					
河川改修事業(梅田川)					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	03	01	河川改修事業
担当課・係等				
土木建設課 河川整備係				

実施計画整理番号	
403010202	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上を図る。	・早野排水機場の設置を行う。 ・早野排水機場完成後に梅田川の護岸整備・橋梁架替等を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	河川は、治水・利水機能のほか、防災・環境保全など様々な機能を果たしている。河川改修を進め、流域の浸水被害を軽減することにより、安全で豊かな地域社会を保全することにつながり、ひいては、施策「河川の整備」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	536,529	919,118	463,918	71,500				
	財源内訳	国補助	千円	178,843	302,187	154,639	20,500				
		県補助	千円								
		市債	千円	321,900	560,400	278,300	45,900				
		その他	千円								
		一般財源	千円	35,786	56,531	30,979	5,100				
	人工数		人	1.36							
	人件費		千円	8,726,760							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度																		
早野排水機場の設置を行う。また、排水機場完成後に護岸整備及び橋梁架替を実施する。	早野排水機場の完成	目標			完成																			
		実績																						
	護岸整備・橋梁架替	目標値																						
		実績値																						
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度																		
流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上を図る。	梅田川改修計画進捗率	%	目標値 61	83	84	86																		
		実績値 63	82																					
活動指標の動向			成果指標の動向																					
			梅田川改修計画進捗率 <table><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>R1</td><td>85</td><td>40</td></tr><tr><td>R2</td><td>85</td><td>63</td></tr><tr><td>R3</td><td>85</td><td>82</td></tr><tr><td>R4</td><td>85</td><td>84</td></tr><tr><td>R5</td><td>85</td><td>84</td></tr></table>				年度	目標値	実績値	R1	85	40	R2	85	63	R3	85	82	R4	85	84	R5	85	84
年度	目標値	実績値																						
R1	85	40																						
R2	85	63																						
R3	85	82																						
R4	85	84																						
R5	85	84																						

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
4	3	1	2	河川改修事業(梅田川)	7	02	03	01	河川改修事業	403010202

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果 (具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
・早野排水機場の令和4年度の完成に向け、流入水路工並びに建築工が完成した。 ・早野排水機場流入水路工その2 工事延長:L(延長)=20.68m、流入水路工:L(延長)=20.68m、コンクリートブロック積:A=29.5㎡ ・早野排水機場建築工 RC造、2階建て、延床面積404.17㎡		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価 (活動してどのような課題があったか)		
・今後も工事費に多額の費用が必要となってくることが考えられる。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B:事業の実施方法やコスト等について改善が必要		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	・国の交付金を活用するなど財源の確保に努めるとともに、より効率的な工法等について検討する。			
	企画政策課の評価		評価理由	
A	A:計画どおり事業継続が 適当 B:事業改善の検討が必要 C:事業の休止・廃止の検 討が必要 D:事業終了が適当	計画どおりに事業が進捗しており、流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上に資する事業と認められる。引き続き、財源確保に努めるとともに、効率的な手法を検討・実施に努めていただきたい。		

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	3	2	1	河川等	内水対策の推進
実施計画事業名					
内水対策関連事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	02	01	内水対策関連事業
担当課・係等				
土木建設課 河川整備係				

実施計画整理番号	
403020101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	内水氾濫による家屋等の浸水被害を大幅に軽減することを目標に対策を行う。	床上床下の浸水被害が大きい地区の水門に排水ポンプ施設等を設置し早期に被害軽減を図る。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	近年の気候変動に伴い、水災害が激甚化、頻発化していることから、浸水被害が大きい地区に排水ポンプ施設等を設置し、内水氾濫による家屋等の浸水被害を軽減することにより、生命・財産を守り、ひいては施策「内水対策の推進」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	317,570	375,098	66,840	609,408				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円	110,000	108,040	1,985	140,424				
		市債	千円	155,600	230,000	30,000	395,400				
		その他	千円								
		一般財源	千円	51,970	37,058	34,855	73,584				
	人工数		人	3.53							
	人件費		千円	25,091							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
内水排除ポンプや排水路等の整備を進める。	鷺巣稲荷前水門ポンプゲートの完成		目標		完成		
			実績				
	排水路整備		目標値				
			実績値				
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
家屋等の浸水被害の軽減	床上・床下浸水戸数の減少		目標値	減少を目指します			
			実績値				
活動指標の動向			成果指標の動向				

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
4	3	2	1	内水対策関連事業	7	02	02	01	内水対策関連事業	403020101

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・鷺巣稲荷前水門：令和2年6月に躯体工事が完成し、現在、ポンプ設備の製作を実施している。

・長清水水門：令和3年3月に排水ポンプが完成し、今年度、付帯工事を実施した。

・排水路整備（高師）：準備工一式、仮設工一式

・その他に排水路詳細設計や排水施設基本計画策定、測量業務等を実施している。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い

総合評価

B: ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・今後も内水排除ポンプ等の施設整備に多額の費用を要することが考えられる。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか）

・県の補助金を活用するなど財源の確保に努めるとともに、より効率的な工法等について検討する。

企画政策課の評価	評価理由
A A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当	内水氾濫による家屋等の浸水被害の軽減に資する事業と認められる。 引き続き、財源確保を図るとともに、優先順位を考慮し適切な事業実施 に努めていただきたい。

令和3年度 事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	3	2	1	河川等	内水対策の推進
実施計画事業名					
川中島終末処理場輪中堤整備事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
				川中島終末処理場輪中堤整備事業
担当課・係等				
下水道課川中島終末処理場				

実施計画整理番号	
403020102	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	川中島終末処理場の施設の周囲に輪中堤を設置することで、災害時のインフラ施設の維持及び安定した市民生活が図られる。	外周に輪中堤を設置することにより、川中島終末処理場施設の浸水被害の防止を図る。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	処理場は、過去に4度の被害を受け災害復旧に多額の費用がかけられていることから、輪中堤の設置は、処理場の被害の軽減と安定した市民生活が図られ、水害に強い下水道施設の整備の取り組み、ひいては施策「内水対策の推進」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円		159,650 (内設計額18,634)	18,040						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円		159,650 (18,634)	18,040						
	人工数	人		0.8							
	人件費	千円		5,106							

手 段(DO)	活動指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
処理場施設を輪中堤で囲むことにより、処理場施設全体の浸水被害を防ぐことができ、今後は、耐水化計画で計画した、恒久的な輪中堤の構築や内水対策も含め浸水被害の強化を図る。	—		目標値	—	—	—	—
			実績値	—	—	—	—
	—		目標値	—	—	—	—
			実績値	—	—	—	—
成 果	成果指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
輪中堤設置は、下水処理場施設を守ることができ、安定した市民生活と浸水被害の軽減につながる。	—		目標値	—	—	—	—
			実績値	—	—	—	—
活動指標の動向			成果指標の動向				
—			—				

令和3年度 事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
4	3	2	1	川中島終末処理場輪中堤整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
				川中島終末処理場輪中堤整備事業

整理番号
403020102

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	一宮川及び阿久川からの越水による浸水被害を防ぐため、川中島終末処理場の施設の周りに高さ1.5m、延長568mの大型土のうによる輪中堤を設置し、さらに、間隙から浸水を防ぐためブルーシートで覆った。令和3年度は河川が越水するような被害はないが、今後起こりえる異常災害に対する備えができた。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	今回設置した輪中堤は大型土のうによるもので、恒久的な構造にはなっていないため、今後は恒久的化に向けて、構造物による設置を考える必要がある。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		①業務の整理・統合・集約化	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	現在川中島終末処理場には、今回設置した輪中堤のほか、既存建物に1mの止水壁を令和元年度災害の中で対策を講じているところであるが、近年頻発する予測のつかない豪雨災害では、処理場施設を守れない恐れがある。 このため、令和3年度に耐水化計画を策定した中で、恒久的な構造での輪中堤整備が必要とされたことから、補助事業を活用し整備を図る。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	施設の浸水被害防止を図り安定した市民生活に資する事業と認められる。引き続き、より効果的で効率的な整備方法を実施し、更なる被害軽減及び市民生活の安定に努めていただきたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	4	1	1	防犯	防犯体制の充実
実施計画事業名					
防犯対策事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	12	02	防犯対策事業
担当課・係等				
生活課生活安全係				

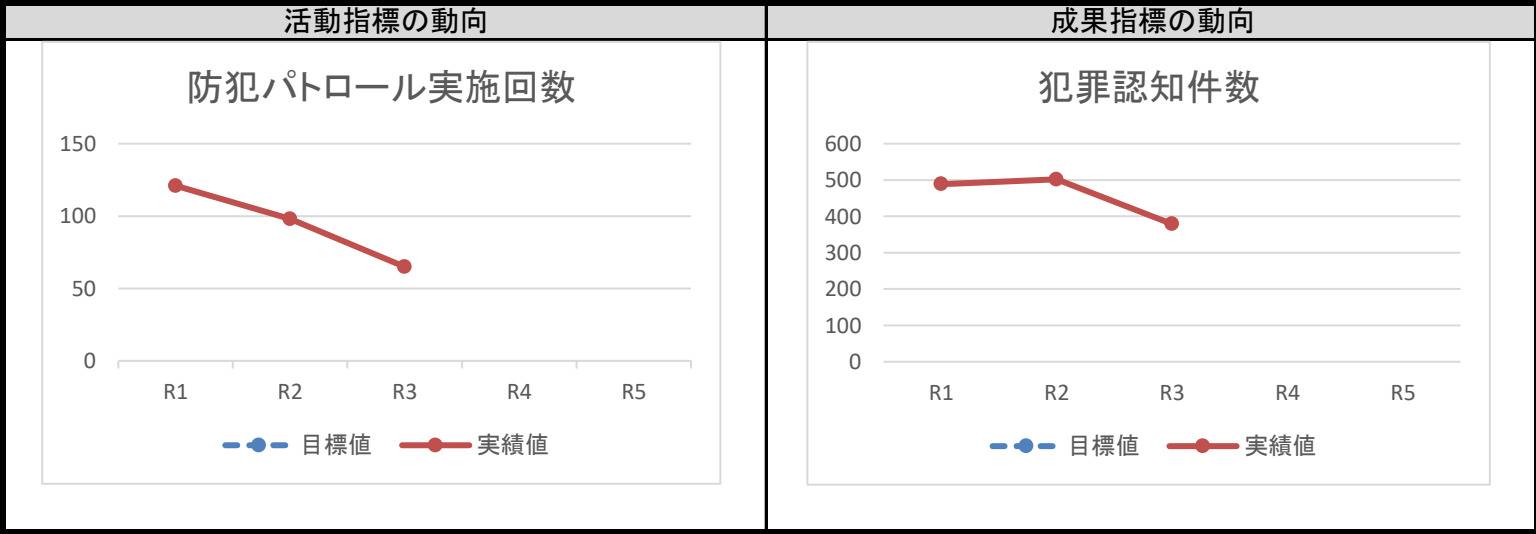
実施計画整理番号	
404010101	
総合戦略 整理番号	41201

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
市民が安心して暮らせるよう、各防犯団体と協力し、犯罪の防止と市民の防犯意識の高揚を図る。	・防犯パトロール活動の実施 ・防犯関係団体への活動支援
基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）	
安全で安心な地域づくりには、継続的な取り組みが必要である。防犯パトロールの実施や防犯関係団体への活動を支援することで、地域の防犯活動の活性化に繋がり、ひいては施策「防犯体制の充実」に寄与する。	

投入される行政コスト（DO）	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	3,126	3,126	3,072	3,235				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円	108	108	108	79				
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	3,018	3,018	2,964	3,156				
	人工数		人	0.9							
	人件費		千円	6,807							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
防犯組合、自主防犯団体、防犯ボックス等と連携し、年間を通じた防犯パトロールを実施することで、防犯対策の充実を図る。	防犯パトロール実施回数	回	目標値 増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
			実績値 98	65		
	「電話de詐欺」防止広報啓発活動数	回	目標値 20	25	30	35
			実績値 33	67		
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
防犯パトロール、広報啓発活動を強化することで、安全で安心に暮らせるまちを形成し、犯罪認知件数の減少を目指す。	犯罪認知件数	件	目標値 減少を目指します	減少を目指します	減少を目指します	減少を目指します
			実績値 502	379		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
4	4	1	1	防犯対策事業	2	01	12	02	防犯対策事業	404010101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
・防犯パトロールについては、茂原市防犯組合防犯指導員121名により、1年間で合計65回実施した。 ・「電話de詐欺」防止広報啓発活動については、もばら安全安心メールを活用した情報提供や、年金支給日は市内商業施設、市内金融機関での街頭啓発を実施した。 ・不審者に対する対応については、もばら安全安心メールの活用や不審者情報看板の設置をするなど注意を喚起した。 ・継続的な防犯対策に取り組んだことで、犯罪認知件数が昨年と比較して減少した。		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
・防犯パトロールについては、60～70歳代の方が大半を占めており、幅広い年代の参加が必要となってきた。 ・もばら安全安心メールを活用した情報提供をするには、更なるメール登録者数を増やす必要がある。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法			
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		③連携・協働の推進			
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)					
	・防犯関係団体に対し、幅広い年代の防犯パトロール参加を促し、若年化を推進していく。 ・市公式ウェブサイト、広報もばら、防犯ボックスだより等を活用した周知を行い、メール登録者数を増加させる。					
	企画政策課の評価		評価理由			
B		A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	防犯パトロールなど活動が制限される中でも犯罪認知件数の減少が見られるなど、一定の成果が挙げられていると認められる。引き続き、犯罪防止と市民の防犯意識高揚のため、より効果的に事業を実施することで、安全・安心な地域づくりに努めていただきたい。			

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	4	1	2	防犯	防犯体制の充実
実施計画事業名					
防犯ボックス事業					

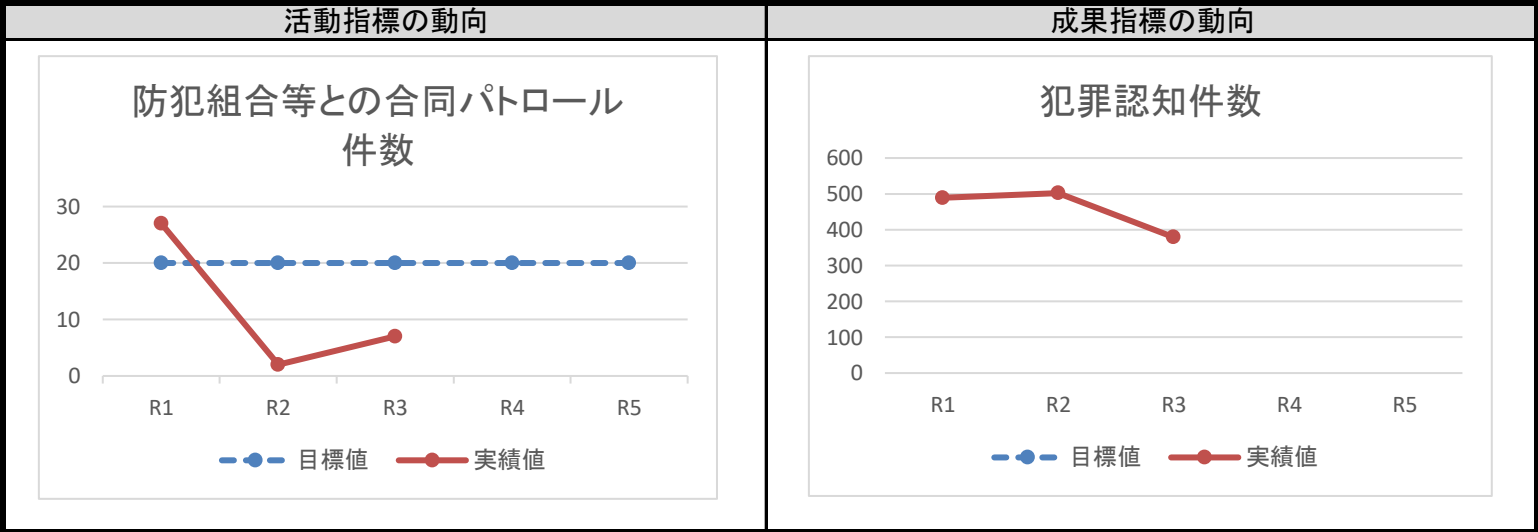
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
2	01	12	05	防犯ボックス事業	
担当課・係等					
生活課生活安全係					

実施計画整理番号	
404010201	
総合戦略 整理番号	41202

事務事業の概要（PLAN）	事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）		主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）	
	市民が安心して暮らせる社会をめざし、防犯ボックスを核に警察官OBを会計年度任用職員として採用し巡回パトロールや犯罪多発地域の重点警戒、市民への啓発活動等を実施することで自分たちの地域は自分たちで守るという地域住民の防犯に対する意識の醸成を図る。		・茂原市防犯組合等との合同パトロールの実施、見守り、街頭監視 ・茂原市防犯組合等に対する指導・助言 ・広報及び情報発信活動 ・犯罪情報の入手	
	基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）			
	安全で安心なまちづくりの実現には、防犯ボックスと連携した取り組みが必要である。茂原市防犯組合等への指導・助言や合同パトロールを実施することで、地域防犯力及び防犯意識の向上に繋がり、ひいては施策「防犯体制の充実」に寄与する。			

投入される行政コスト(DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	12,282	12,282	12,185	12,296				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円	6,000	6,000	6,000	6,000				
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	6,282	6,282	6,185	6,296				
	人工数		人	0.3							
	人件費		千円	2,267							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
防犯ボックスを核に、巡回パトロールや犯罪多発地域の重点警戒、市民への啓発活動等を実施することで、自分たちの地域は自分たちで守るという地域住民の防犯に対する意識の醸成を図る。	防犯組合等との合同パトロール件数	件	目標値 20	維持します	維持します	維持します
			実績値 2	7		
	防犯ボックス職員によるパトロール件数	件	目標値 362	362	362	362
			実績値 362	362		
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
防犯ボックスを1年間ほぼ休みなしで開設し、防犯組合等との合同パトロールを実施することで、犯罪認知件数の減少を目指す。	犯罪認知件数	件	目標値 減少を目指します	減少を目指します	減少を目指します	減少を目指します
			実績値 502	379		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
4	4	1	2	防犯ボックス事業	2	01	12	05	防犯ボックス事業	404010201

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）		
・防犯ボックスを年間362日開設し、職員による防犯パトロールを、年間ほぼ休みなしで実施した。 ・防犯組合等との合同パトロールは、年間7回実施した。 ・不審者情報や行方不明者情報に基づいた重点的なパトロールを実施した。 ・青色パトロールカーを使用し、広範囲なパトロールを実施した。 ・毎月防犯ボックスだよりを作成し、地域住民の防犯に対する意識の向上に努めた。 ・継続的な防犯対策に取り組んだことで、犯罪認知件数が昨年と比較して減少した。		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）		
分析・評価（活動してどのような課題があったか）		
・防犯ボックスの存在や活動内容を知らない市民が多いため、周知する必要がある。 ・コロナ禍における防犯組合等との合同パトロールは中止になる場合が多いため、別の手段を検討する必要がある。		

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性		改善・改革の手法	
B:事業の実施方法やコスト等について改善が必要		③連携・協働の推進	
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
・防犯ボックスの存在やSA(セーフティアドバイザー)の活動内容について、市公式ウェブサイト、広報もばら、市が主催する防犯教室等で周知していく。 ・コロナ禍で防犯組合等との合同パトロールが出来ない場合でも、地域住民の防犯に対する意識が低下しないよう、指導及び助言をしていく。			
企画政策課の評価		評価理由	
B A:計画どおり事業継続が 適当 B:事業改善の検討が必要 C:事業の休止・廃止の 検討が必要 D:事業終了が適当		安全・安心まちづくりの実現に資する事業であり、市民の防犯意識の向上に一定の成果を挙げていると認められる。コロナ禍においても、効果的な活動を実施し市民の防犯意識を維持できるよう努めていただきたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	4	1	2	防犯	防犯体制の充実
実施計画事業名					
防犯設備設置・管理費					

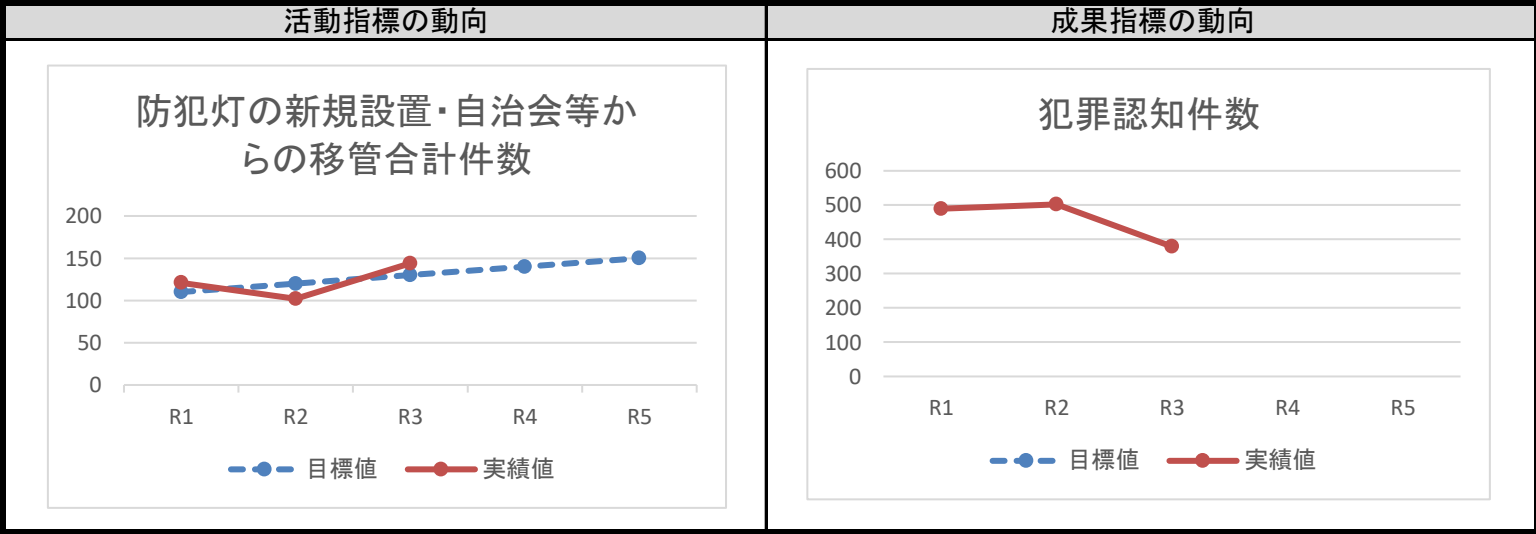
予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	12	01	防犯設備設置・管理費
担当課・係等				
生活課生活安全係				

実施計画整理番号	
404010202	
総合戦略 整理番号	41203

事務事業の概要（PLAN）	事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
	市民が安全で安心して暮らせるよう市内に防犯設備の設置及び維持管理を行う。	・防犯灯の設置、維持管理 ・防犯カメラの設置、維持管理 ・自治会所有の防犯灯への維持管理補助
	基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）	
	防犯灯や防犯カメラについては、防犯上危険と認められる箇所への設置など適正な配置に努める必要がある。また、自治会が所有する防犯灯の維持管理費を補助することで、地域の防犯力の向上に繋がり、ひいては施策「防犯体制の充実」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		単位	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	30,857	30,857	30,788	24,829				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	30,857	30,857	30,788	24,829				
	人工数		人	1							
	人件費		千円	7,563							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
市内に防犯灯や防犯カメラを設置及び維持管理することで、防犯対策の充実を図る。	防犯灯の新規設置・自治会等からの移管合計件数	件	目標値 120	130	140	150
			実績値 139	176		
		円	目標値			
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
防犯上必要と考えられる箇所へ防犯灯及び防犯カメラを設置することで、市民が安全で安心して暮らせるようにする。	犯罪認知件数	件	目標値 減少を目指します	減少を目指します	減少を目指します	減少を目指します
			実績値 502	379		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
4	4	1	2	防犯設備設置・管理費	2	01	12	01	防犯設備設置・管理費	404010202

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）		
・防犯灯新規設置要望に伴い、夜間現地調査を行い防犯上必要な箇所に防犯灯を設置した。 ・市職員に対し、庁内情報メールを活用した防犯灯不点灯箇所の情報提供を依頼した。 ・防犯カメラの画像管理を徹底するため、4月及び10月に合計66台の画像確認を実施した。 ・捜査機関からの防犯カメラ画像提供に対し、速やかに対応し捜査に協力した。 ・継続的な防犯対策に取り組んだことで、犯罪認知件数が昨年と比較して減少した。		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた（目標・目的を達成している）		
分析・評価（活動してどのような課題があったか）		
・既設の防犯灯と、その後設置された道路照明灯の距離が近く、防犯灯の機能を果たしていない箇所があるので、今後の管理について検討する必要がある。 ・市内の一部商店会解散に伴い、商店会が設置した街路灯を撤去することになった場合の防犯対策について検討する必要がある。		

今後の方向性（ACTION）	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	①業務の整理・統合・集約化
	課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか）	
	・市内には防犯上、防犯灯の設置が必要な箇所が多数あるので、不要な箇所に設置してある防犯灯を必要な箇所に移設していく。 ・商店会が設置した街路灯を撤去することになった場合、撤去前の街路灯の明るさを復元するには、防犯上必要な箇所に設置する市生活課の防犯灯では不十分であり、なお且つ設置目的が異なるため、市商工観光課、商工会議所が連携し、新規設置等により管理するよう要望していく。	
	企画政策課の評価	評価理由
今後の方向性（ACTION）	B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当
		犯罪認知件数が減少していることから、地域の防犯力の向上に一定の成果を挙げていると認められる。引き続き、関係団体と連携するなどし、効果的な防犯灯設置に努められたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	5	1	1	交通安全	交通安全対策の推進
実施計画事業名					
交通安全対策事業					

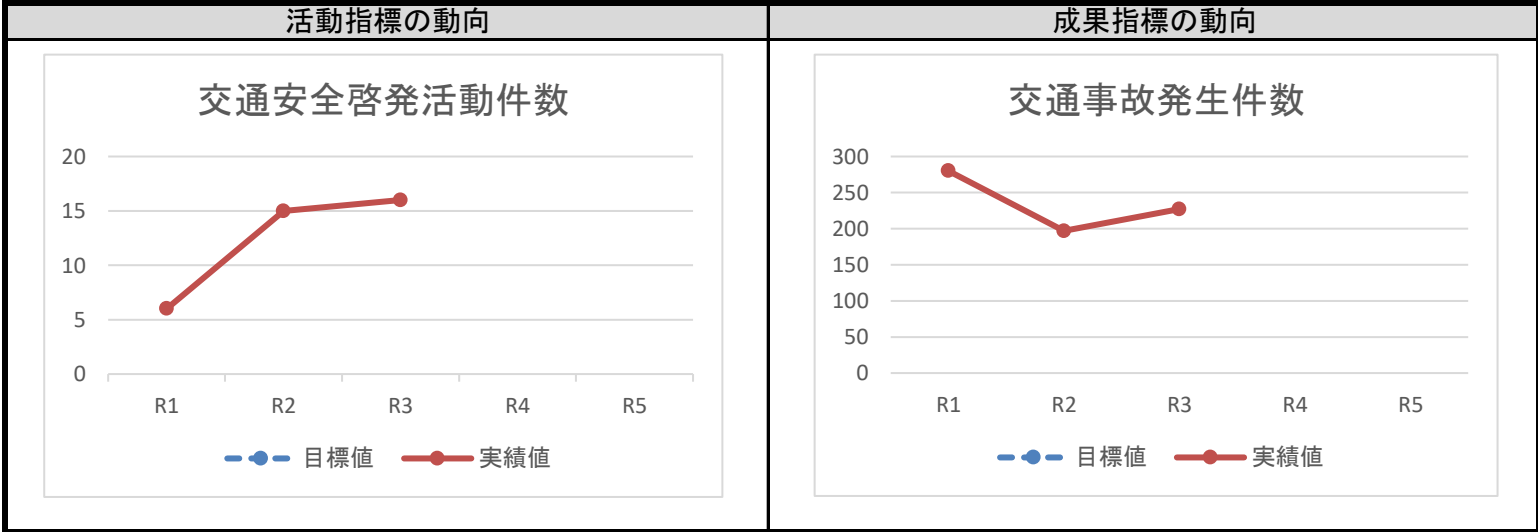
予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	11	01	交通安全対策事業
担当課・係等				
生活課生活安全係				

実施計画整理番号	
405010101	
総合戦略 整理番号	42101

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	警察や交通安全活動団体と連携し、市民に対して交通安全に関する知識の普及と交通安全思想の高揚を図る。	- 交通安全運動啓発 - 各世代における交通安全教室等の安全教育の実施
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	交通事故を防止するためには、継続的な取り組みが必要となる。四季の交通安全運動の実施や各世代における交通安全教室等を実施することで、交通安全意識の向上に繋がり、ひいては施策「交通安全対策の推進」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		520	520	517	520					
	財源内訳	国補助									
		県補助									
		市債									
		その他									
		一般財源	520	520	517	520					
	人工数		0.8								
	人件費		6,050								

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
警察や交通安全活動団体と連携し、市民に対して交通安全に関する知識の普及や、啓発活動等を実施することで、交通安全対策の充実を図る。	交通安全啓発活動件数	件	目標値 増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
			実績値 15	16		
	交通安全教室開催回数	回	目標値 増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
			実績値 コロナの影響により開催なし	15		
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
市内幼稚園、小中学校において交通安全教室の開催、四季を通して交通安全啓発活動を行うことで、交通安全思想の高揚を図る。	交通事故発生件数	件	目標値 減少を目指します	減少を目指します	減少を目指します	減少を目指します
			実績値 197	227		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
4	5	1	1	交通安全対策事業	2	01	11	01	交通安全対策事業	405010101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
・毎月10日の「交通安全の日」に、朝の通勤通学の時間帯に、市内主要交差点において街頭啓発を実施した。 ・四季の交通安全運動期間中、市役所前交差点・市役所市民広場に横断幕等の設置、市公式ウェブサイト・広報もばら等を活用した広報活動を実施した。 ・市内商業施設において、小学生を対象とした、クイズ形式で学ぶ交通安全動画を放映し、交通安全意識の向上を図った。 ・八街市で発生した飲酒運転死亡事故を受け、速やかに市内主要交差点において街頭啓発を実施した。 ・高齢ドライバーによる交通事故が多発しているため、長寿クラブ連合会、シルバー人材センター、千葉県生涯大学校等に注意を喚起するため、チラシの配布を行った。 ・コロナの影響があり、R2、3年度の交通事故発生件数は不安定だが、継続的な交通安全対策に取り組んだことで、R1年度に比べ発生件数は減少してきている。		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
・主要交差点での街頭啓発は、コロナ禍で啓発物資の配布ができず、興味を引き付けるのが困難だった。 ・飲酒運転や高齢ドライバーによる事故を減少させるためには、新たな取り組みを検討する必要がある。		

今後の方向性
(ACTION)

事業の方向性		改善・改革の手法	
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		⑤更なる事業の推進	
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
・コロナ禍での活動には制限があるが、集客力の高い商業施設や、JR茂原駅等で啓発物資やチラシを配布することで、幅広い年代に周知を図る。 ・高齢者の集まるイベント等で、高齢ドライバー向けのチラシを配布し、まずは交通安全意識の向上に取り組む。			
企画政策課の評価		評価理由	
B A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当		コロナ禍により開催できていなかった交通安全教室を再開した他、随時啓発活動を行ったことにより、交通安全意識の向上に一定の成果を挙げたと認められる。引き続き啓発活動に取り組むとともに、年代ごとの効果的な啓発活動、周知方法の模索に努められたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	5	1	2	交通安全	交通安全対策の推進
実施計画事業名					
交通安全施設の整備					

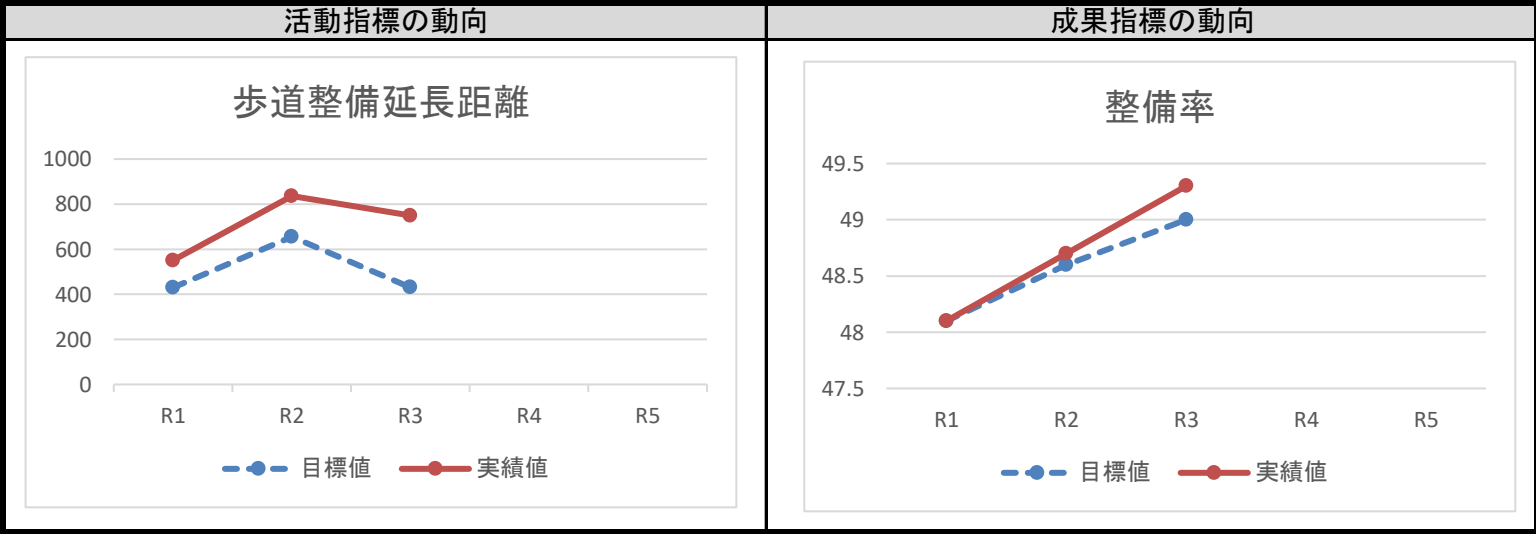
予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	04	02	交通安全施設整備事業
担当課・係等				
土木建設課 道路整備係				

実施計画整理番号	
405010201	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)		主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)	
	自転車歩行者道等の整備を計画的に推進することで、歩行者、自転車の安全が確保される。 バリアフリーに配慮した歩道の整備を推進することで、高齢者や障害者をはじめ、全ての人々が安全安心に通行できるようにする。		歩道の工事等を実施する。	
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)			
	交通安全施設の整備により、歩行者、自転車の安全を確保する事につながり、ひいては施策「交通安全対策の推進」に寄与する。			

投入される行政コスト(DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	117,370	136,696	136,141	43,000				
	財源内訳	国補助	千円	51,174	60,961	60,961	23,650				
		県補助	千円								
		市債	千円	59,400	67,400	66,900	17,400				
		その他	千円								
		一般財源	千円	6,796	8,335	8,280	1,950				
	人工数		人	2.3							
	人件費		千円	17,395							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
交通安全施設整備事業を進めることで、歩行者、自転車の安全確保に努める。	歩道整備延長距離	m	目標値	655	431	
			実績値	836	749	
			目標値			
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
交通安全施設整備事業を進め、通行の安全・安心が図られる。	歩道整備率	%	目標値	48.6	49.0	
			実績値	48.7	49.3	



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
4	5	1	2	交通安全施設の整備	7	01	04	02	交通安全施設整備事業	405010201

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・交通安全施設の整備として、目標としていた歩道の整備ができた。歩道整備延長距離 749m

・市道2級21号線他2路線において、交通安全施設整備工事を実施した。

・交通安全施設整備事業を進めることで、歩行者、自転車の安全確保ができるようになり、安全性が向上した。

・交通安全施設整備工事を進めるにあたり、バリアフリーに配慮した歩道を整備したことにより、安全性が向上した。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる

総合評価

B: ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・交通安全に関する住民意識・要望は増加しており、事業費増による対策が必要である。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか）

・交付金を活用するなど、財源の確保に努めるとともに、最小の経費で最大の効果をもたらすよう、工法等も検討する。

企画政策課の評価	評価理由
A	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当 指標の達成状況からも計画どおりに事業進捗していると認められる。引き続き、財源の確保を図るとともに、更なる通行の安全・安心につながるよう、優先順位を考慮した適切な事業実施に努めていただきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

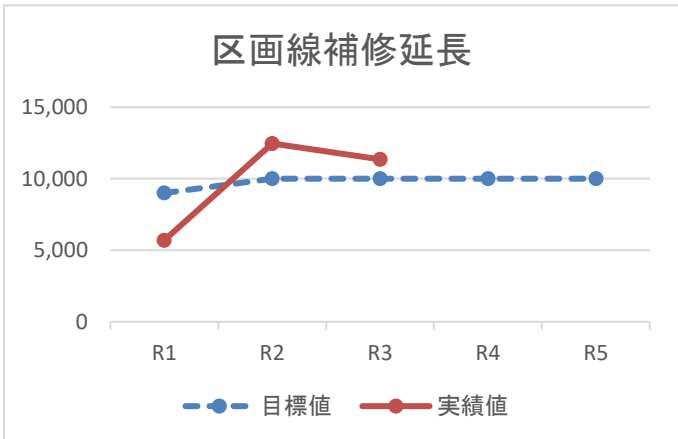
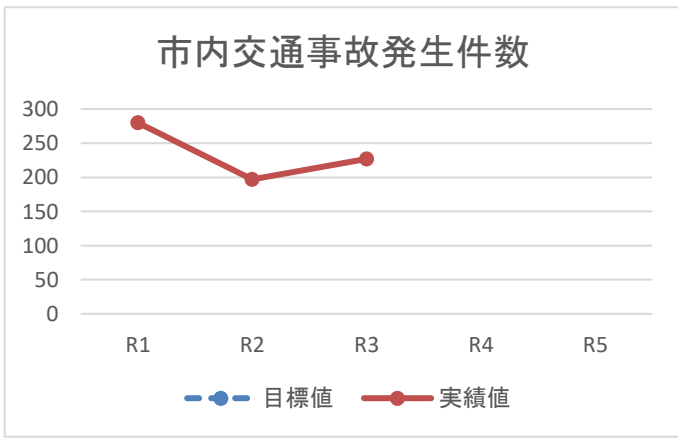
基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	5	1	2	交通安全	交通安全対策の推進
実施計画事業名					
交通安全施設管理事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	04	01	交通安全施設管理費
担当課・係等				
土木管理課 維持補修係				

実施計画整理番号	
405010202	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要（PLAN）	事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
	区画線やカーブミラー等の交通安全施設の整備補修を行うことで、交通事故防止が図られる。	通学路を中心とした学童の安全と、歩行者や自動車が安全に通行できるように区画線の設置や引き直しを実施する。
	基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか） 全ての道路利用者が安全安心に通行出来るよう、標識やカーブミラーなどの安全施設の整備をはじめ、歩道整備やバリアフリー化を推進していくことで、道路交通における安全性を向上させ、ひいては施策「交通安全対策の推進」に寄与している。	

投入される行政コスト（DO）	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	13,097	18,521	18,396	10,094				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	13,097	18,521	18,396	10,094				
	人工数		人	0.9							
	人件費		千円	6,807							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
区画線の引き直しや、標識・カーブミラーの設置を行い、各種交通に対する安全性の向上に努める。	区画線補修延長	m	目標値	10,000	10,000	10,000	10,000
			実績値	12,460	11,350		
			目標値				
			実績値				
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
道路における各種安全施設の適切な補修や維持管理により、安全安心な交通が確保され、交通事故防止が図られる。	市内交通事故発生件数	件	目標値	減少を目指します	減少を目指します	減少を目指します	減少を目指します
			実績値	197	227		
活動指標の動向			成果指標の動向				
区画線補修延長 			市内交通事故発生件数 				

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	405010202
4	5	1	2	交通安全施設管理事業	7	01	04	01	交通安全施設管理費	

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

区画線引き直し L(延長)=11,350m

歩行スペース確保（グリーンベルト） L(延長)=100m

カーブミラー新設・補修 N(個数)= 28基

注意看板新設・補修 N(個数)=21基

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる

総合評価

B: ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・主要幹線道路や学校・公共機関周辺を中心として区画線引き直しを実施しているが、市内各所で傷みが激しく、また、舗装（路面）の傷み具合により区画線引き直しが難しい場所も存在し、多くの路線を補修することは難しい。

・カーブミラーや注意看板についても、当て逃げなどの破損が数件あり、自治会要望の新設の件数に影響があった。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか）

危険箇所や補修対象箇所を抽出し、緊急性及び必要性を考慮しながら補修や整備を進めていく。

企画政策課の評価	評価理由
B A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の 検討が必要 D: 事業終了が適当	交通安全施設の整備補修を実施することは、安全安心な交通の確保に資すると認められる。引き続き、優先順位を考慮しながら、適切な事業実施に努めていただきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	5	1	5	交通安全	交通安全対策の推進
実施計画事業名					
放置自転車等対策事業					

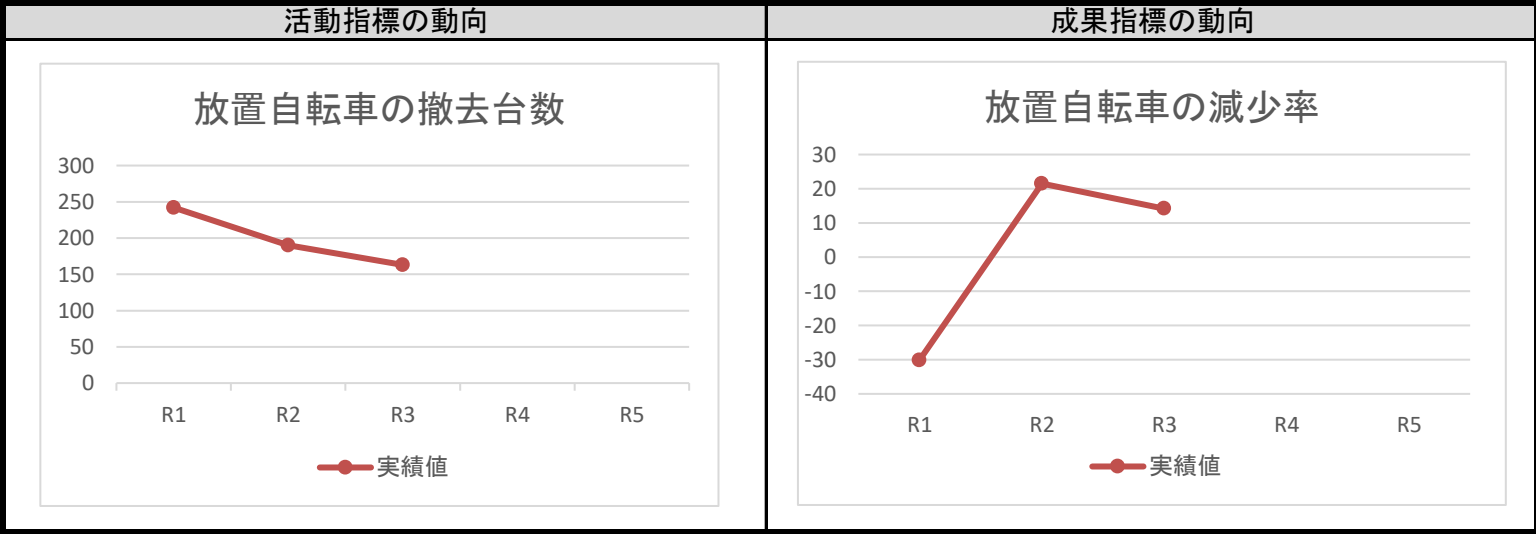
予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	13	放置自転車等対策事業
担当課・係等				
都市計画課交通政策係				

実施計画整理番号	
405010501	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	放置自転車等による歩行者等の通行障害等を防止し、良好な都市景観と交通環境の確保が図られることを目指す。	放置自転車防止啓発活動 駅前放置自転車等の整理
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	放置自転車については、交通の支障及び街の美観を損なう等の影響を引き起こすため、茂原市自転車等放置防止に関する条例に基づき指導や撤去を実施し、ひいては施策「交通安全対策の推進」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		単位	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	940	940	844	838				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円	117	117	120	117				
		一般財源	千円	823	823	724	721				
	人工数		人	0.3							
	人件費		千円	2,269							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
・委託により定期的に放置自転車等の撤去・整理を行う。 ・禁止区域標識や広報誌による周知、放置自転車クリーンキャンペーンでの啓発活動等を実施する。	放置自転車の撤去台数	台	目標 減少を目指します	減少を目指します	減少を目指します	減少を目指します
			実績値 190	163		
	啓発活動数	回	目標値		62	62
			実績値 62	59		
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
放置自転車等を減少させることにより、歩行者等の通行障害等を防止し、良好な都市景観と交通環境の確保が図られる。	放置自転車の減少率	%	目標 増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
			実績値 21.5	14.2		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
4	5	1	5	放置自転車等対策事業	7	03	01	13	放置自転車等対策事業	405010501

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）		
・市内高等学校での啓発活動は新型コロナウイルスのため中止となったが、市営自転車駐車場で啓発活動を実施した。 ・放置自転車等整理業務については、公益社団法人茂原市シルバー人材センターに委託し、実施した。 ・自転車等駐車対策協議会は、問題となる案件がなく開催しなかった。		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）		
分析・評価（活動してどのような課題があったか）		
・新型コロナウイルス感染症が拡大する中、効果的な啓発活動を実施する必要がある。 ・放置自転車等整理業務については、公益社団法人茂原市シルバー人材センターに委託し、計画どおり実施できた。 ・自転車等駐車対策協議会については、問題となる案件が生じた場合は、速やかに開催し対応する必要がある。		

今後の方向性（ACTION）	事業の方向性		改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか）		
	・新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じたうえで、効果的な啓発活動を実施する。 ・放置自転車等整理業務については、今後も引き続き公益社団法人茂原市シルバー人材センターに委託し、実施する。 ・自転車等駐車対策協議会については、今後も必要に応じて開催する。		
	企画政策課の評価		評価理由
B		A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	良好な都市景観と交通環境の形成に一定の成果を挙げていると認められる。引き続き、より効果的な周知や啓発活動を実施し市民の意識向上に努めていただきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	5	1	5	交通安全	交通安全対策の推進
実施計画事業名					
自転車駐車場管理運営費					

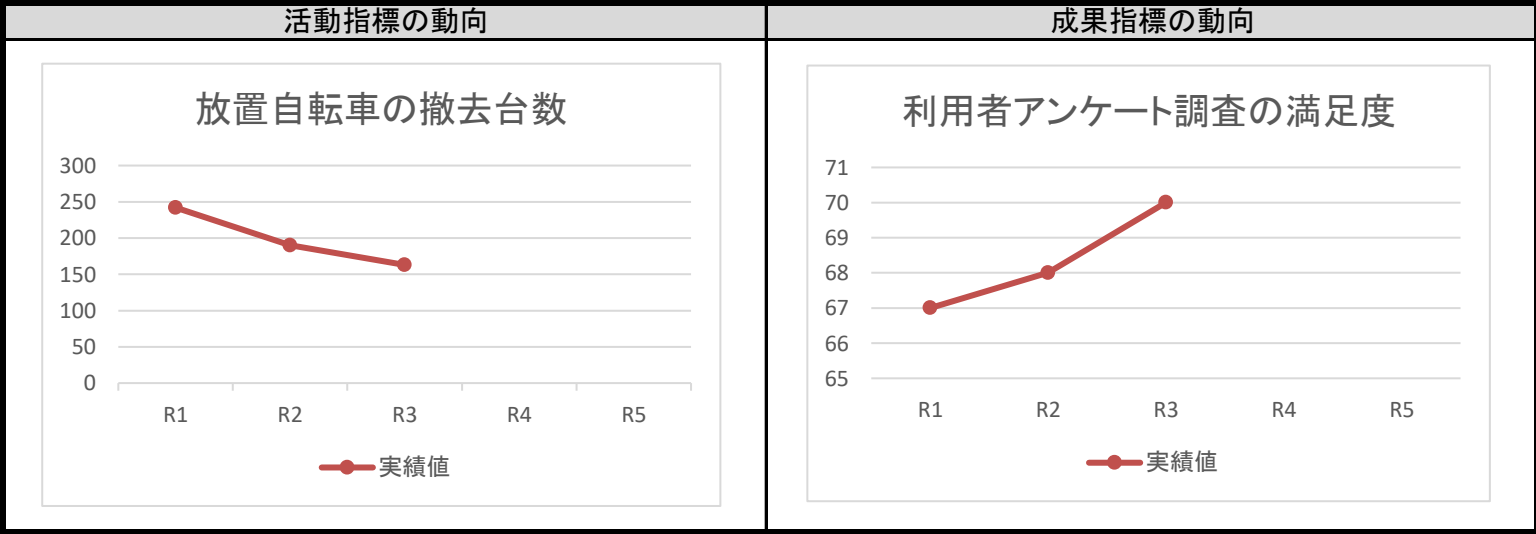
予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	14	自転車駐車場管理運営費
担当課・係等				
都市計画課交通政策係				

実施計画整理番号	
405010502	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	自転車駐車場を適正に管理することで、駅周辺の良好な交通環境が図られることを目指す。	自転車駐車場の管理運営を委託する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	駅周辺の良好な交通環境整備のため、JR茂原駅、新茂原駅に設置してある自転車駐車場を管理運営し、ひいては施策「交通安全対策の推進」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	39,233	39,233	38,701	38,521				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円	31,157	31,157	27,337	31,157				
		一般財源	千円	8,076	8,076	11,364	7,364				
	人工数		人	0.5							
	人件費		千円	3,782							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
指定管理者を指定し、自転車駐車場の管理運営を行う。	放置自転車の撤去台数	台	目標 減少を目指します	減少を目指します	減少を目指します	減少を目指します
			実績値 190	163		
			目標値			
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
駅周辺の良好な交通環境を整備し、秩序ある駐車の確保を図る。	利用者アンケート調査の満足度	%	目標 増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
			実績値 68	70		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
4	5	1	5	自転車駐車場管理運営費	7	03	01	14	自転車駐車場管理運営費	405010502

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果 (具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
・自転車駐車場施設管理については、外灯修繕等を実施し、施設の環境整備を図った。 ・自転車駐車場業務委託については、公益社団法人茂原市シルバー人材センターに委託し、実施した。 ・自転車駐車場用地借上げについては、東日本旅客鉄道株式会社より、施設運営に必要な用地の借上げを行った。		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた (目標・目的を達成している)		
分析・評価 (活動してどのような課題があったか)		
・自転車駐車場施設管理については、必要な修繕等を行うなど、引き続き施設の環境整備を図る必要がある。 ・自転車駐車場業務委託については、公益社団法人茂原市シルバー人材センターに委託し、計画どおり実施できた。 ・自転車駐車場用地借上げについては、施設の利用状況を勘案して、施設運営に必要な用地の借上げを行う必要がある。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法			
	A: 計画どおり事業を進めることが適当		⑤更なる事業の推進			
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)					
	・自転車駐車場施設管理については、指定管理者とも連携を図りながら施設の状況を把握し、必要な環境整備を図る。 ・自転車駐車場業務委託については、今後も引き続き公益社団法人茂原市シルバー人材センターに委託し、実施する。 ・自転車駐車場用地借上げについては、施設の利用状況を注視し、施設運営に必要な用地の借上げを行う。					
	企画政策課の評価		評価理由			
A		A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	駅周辺の良好な交通環境の整備に資する事業と認められる。引き続き、関係機関との連携を図り、適切な事業運営に努めていただきたい。			

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	6	1	1	消費生活	消費者の自立支援
実施計画事業名					
消費生活相談事業					

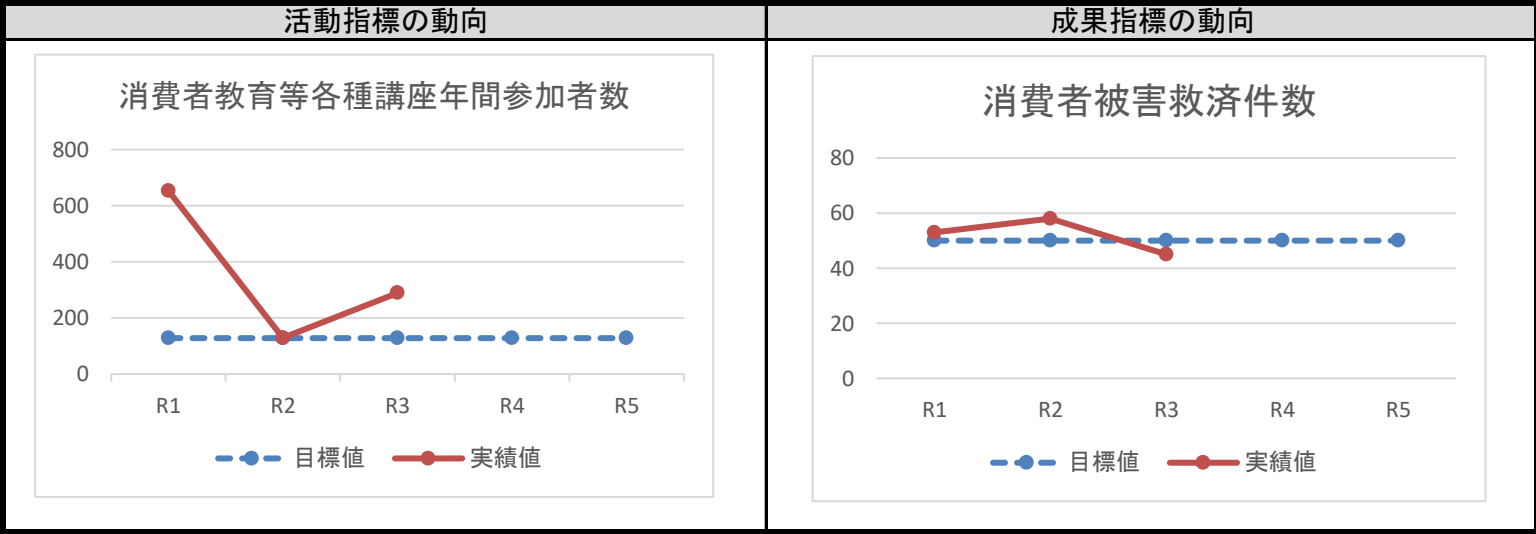
予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	14	02	消費生活相談事業
担当課・係等				
生活課庶務相談係 消費生活センター				

実施計画整理番号	
406010101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	トラブルを未然に防ぐため、市民を対象とした消費生活講座や中学生を対象とした出前授業を行い、消費生活に関する知識の普及や啓発に努めるとともに、消費者の保護を図り、市民が安全で安心な消費生活を送れるようにする。	・消費生活相談の実施 ・消費生活講座の実施 ・出前授業の実施 ・広報等による情報提供
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	消費者被害の減少に向け、市民への啓発活動や相談員の研修を実施することで、市民の消費生活に関する知識向上及び相談員の資質向上に繋がり、ひいては施策「消費者の自立支援」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		単位	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	8,701	8,779	8,672	8,888				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円	90	1,037	1,017	280				
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	8,611	7,742	7,655	8,608				
	人工数		人	1.1							
	人件費		千円	8,319							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
・トラブルを未然に防ぐため、各種講座を行う。 ・広報誌等によるセンター案内、ウェブサイトへの情報掲載を実施する。	消費者教育等各種講座年間参加者数	回	目標値 128	維持します	維持します	維持します
			実績値 129	289		
	消費者トラブル未然防止のための情報発信数	回	目標値 30	維持します	維持します	維持します
			実績値 6	21		
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
消費者の知識向上に努めるとともに、消費生活相談体制の充実を図り、市民が安全で安心な消費生活を送れるようにする。	消費者被害救済件数	件	目標値 50	維持します	維持します	維持します
			実績値 58	45		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
4	6	1	1	消費生活相談事業	2	01	14	02	消費生活相談事業	406010101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	・消費生活相談を平日毎日実施した。 ・外部講師による消費生活講座を実施した。第1回 参加者25名(感染症拡大防止のため、第2・3回は中止) ・市内中学1年生を対象に出前授業を実施し、消費者教育の推進に努めた。(3校) ・広報誌などにより消費生活センターの周知に努めた。(広報もばら1回、センターだより毎戸25,100部配布、郵送1,500部) ・市公式ウェブサイト、広報もばら等に現在流行している消費者被害の情報を掲載し、注意喚起を行った。(ウェブ21回、広報4回)		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	・感染症拡大防止のため、市内中学校での出前授業は希望した3校への実施にとどまった。しかし、成年年齢の引き下げが行われることから、コロナ禍においても引き続き、学校における消費者教育の推進を図っていく必要がある。 ・消費生活相談の実施により、消費者トラブルの未然防止・被害救済が図られたが、若年層の相談は増加傾向にあるため、より一層の注意喚起を行う必要がある。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	A: 計画どおり事業を進めることが適当		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	・コロナ禍において、各種講座等を安全に開催出来る方法を検討する。 ・複雑多様化する消費者問題に対し、あらゆる年代に向け、情報発信等の啓発活動を通して、自立した消費者の育成に努める。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	A	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	相談、講座の実施により、消費者被害の救済に一定の成果が認められる。引き続き、コロナ禍での実施方法も検討しつつ、幅広い世代への定期的な情報発信に努められたい。	